

LECだより



発行：ライフ・アンド・エンディングセンター
〒338-0001
さいたま市中央区上落合1-9-1-403
TEL 048-856-5673
FAX 048-855-1006



No.60

新学期、真新しいノートを開く月、新しいスーツに腕を通し職場へ初出勤される方、希望と緊張とがないまぜになった朝を迎えた方など、様々な始まりの4月です。

○咲き誇る花々、蝶や蜂にも思いを寄せて…

啓蟄（今年は3月5日）を過ぎてようやく到来した春、穴からお出ましの虫たちもまさに「おらが春」と命を輝かせています。「この昆虫や小さな虫たちが花粉を運ぶことで市場にもたらす価値は、世界で年間に最大66兆円にのぼると、国連の科学者組織が先ごろ発表した。

媒介するのはハチをはじめチョウ、カブトムシなどの昆虫、鳥、コウモリなどという。別の推計では、日本国内でも昆虫が農業にもたらす利益は年間約4700億円になるそうだ。恩恵を知れば虫けらなどとは蔑（さげす）めない（朝日新聞 28.3.7 天声人語）。そう思ってみればありがたい存在、爛漫の花を愛でながら、群がる虫たちにも思いをはせたい記事でした。

○2016年の春を迎えて

LECは今年16年目の春を迎えました。「葬送の勉強会」から始まったLECの講座活動は、7年前に「大往生の勉強会」と装いを改めて、「終活」とひとくくりになっている事柄についての啓発を行い、年6回の開催を続けてきました。お陰様で5月19日には40回を迎えることになりました。これまでにこの講座への参加者はおよそ1200人。

この様に多くの方々が、私たちの開く講座に関心を持って参加されたことは、私たち一同の

誇りとなっています。

ロングセラーの『もしもノート』は、初版から11年を超え18万部あまりの出版となっており、いまなお多くの方のご利用に供しています。皆さまにおかれても、これまでに書かれた『もしもノート』への記載を見直され、不測の事態に備えてくださいますよう。

○家族に迷惑をかけないための「生前整理」 していますか？

今年からは、高齢なご夫婦のみの所帯、単身所帯の増加によって、どうしても必要となった「生前整理」（死後事務）を取り扱うことになりました。

先ごろ、公益社団法人による数億円という多額な流用事件が新聞等で報じられました。私たちは当初からそのような不祥事を避けるべく、信託法という法に依って規制されている信託を使って、死後事務に係る原資を保全し、安心してご利用いただけるようにいたしました。また、理解ある弁護士、会計事務所、宅地建物取引士等のご協力のもと、「生前整理」業務を確実に安全に履行できることになりました。「生前整理の勉強会」も開いております。（4頁参照）、また、個々のご相談も受けておりますので、お問い合わせください。

（電話 048-855-1238）

○業務提携をしました

川口市にある高齢者施設「あいりんぐほっぷ」（事業者 アイリングサポート株式会社）と業務提携いたしました。詳しくは2頁を参照してください。
須齋美智子

